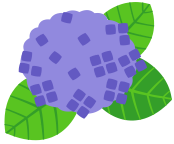




ながれ



ほめて認めて育てよう～思いやりとやさしさいっぱいの子～
校長 服部 みどり

先日、5月20日(土)の運動会には、多くの方にご来校いただき、子供たちへの励まし
の言葉や温かい拍手をいただきました。とても暑い1日になり心配な面も多々ありましたが、子供たちは笑顔で
思い切り演技や競技に取り組み、最後は赤も白も353点で引き分けという、戸三小史上、珍しい感動的な結果
となりました。実は、閉会式の少し前に、「今日は、赤も白も頑張ったから引き分けがいいなあ。」とつぶやいて
いた3年生がいました。本当に引き分けになり、驚きとうれしさを感じたことと思います。応援団長の二人も、
閉会式の間中、優勝旗を支えながら、満足そうな表情だったことが印象的な運動会の幕引きとなりました。アン
ケート用紙にも、「子供たちが一生懸命だった。」「真剣な顔やうれしそうな顔をたくさん見ることができた。」な
どの、うれしい言葉をたくさん書いていただきました。教職員一同、皆様の言葉を励みにするとともに、暑さ対
策等、改善できるところは改善し、30年度に生かしてまいります。本当にありがとうございました。



- ♥50m走で2位でした。なんでかという、1位の子はおなかを前に出していたからです。でも、おかあさんはほめてくれました。次は1位になりたいです。
- ♥わたしは、お母さんにダンスをほめられました。「どうして？」と聞きました。そうしたら、「きびきび動いていて、手も足もよく上がっていたよ。」とほめられました。すごく、うれしかったです。
- ♥かけっこで1位になりました。家に帰って、「メンバーの中で、一番一生懸命な顔をして走っていたよ。」と言われました。うれしかったです。

子供たちの振り返りカードには、お家でほめてもらったことが書かれていました。「ほめる」ことで子供は豊かに育ちます。叱らなくてはいけないこともありますが、叱った後には必ず理由を伝え、次にできた時にはたくさん「ほめる」ことが大切だと思います。



さて、学校では、毎週月曜日に全校朝会があります。4月のある日、新聞に「平和をつくる6つのルール」という記事が掲載されていたので、そのことについて全校児童に伝えました。兵庫県の小学3年生の子が書いた文章をもとにした記事です。

私の言いたいことは平和です。大切なのは、平和な世の中にするやり方です。ぶきをもってするのか、ぶきをほうきしてするのか。私はぶきをほうきします。ここで、みなさんに6つのことをおぼえてほしいです。「あ」あいさつをする 「い」いのちを守る 「う」うそをつかない 「え」えがおですぞす 「お」おもいやりの心 「わ」わる口を言わないです。「あ」から「お」までは、学校で習いました。6つ目の「わ」は、自分で付け加えました。国と国がわる口を言い合うと戦争になるかもしれないからです。テレビで見た、原発避難の子がいじめられたニュースもきっかけになりました。

と書かれていました。平和について考え始めるようになったのは、幼稚園の頃に読んだ「かわいそうなぞう」の話がきっかけだそうです。「かわいそうなぞう」の話は、戦争中、空襲で動物園が被害にあったら、動物たちが逃げ出して人間が危険になるので、その前に毒の入った餌を与える話です。でも、ぞうはかしくくて、毒の入った餌を吐き出すので、最後には、餌そのものをあげないようにしてしまいます。餌をあげなくなって何日もたったある日、ひよろひよろにやせたぐったりした体を起こして、ぞうが芸当をはじめめる場面に考えさせられる話ですが、動物園の人だって、毒の入った餌を与えたり餌をやらないで飢え死にさせたりしたいと思っていただけではありません。平和やいのちについて、私たちはもっと考えた方がいいのではないかと問いかけ、平和の俳句をつくってみたいかという呼びかけをしたところ、たくさんの俳句が校長室に届きました。

戦争は 人の命を うばうかも	平和はね 笑顔がいっぱい あふれるよ
ごはんがね 食べられることは うれしいね	けんかはね 戦争への道 第一歩
平和をね 知らせる鳥が 鳴いている	あいさつは 元気になれる ことばだね
「おはよう」と 仲良く元気 うれしいな	平和には 思いやりが 必要だ
町じゅうが 笑顔になれば いいきもち	自分のね いいところをね 見つけよう

子供たち同士の、認め合い励まし合い、「思いやり」がもっと増えていくといいと思っています。